

	<p>号外</p> <p>昭和34年4月1日</p> <p>第3種郵便物認可</p>	定価1部2円	盛岡市議会議員選挙は8月13日投票。「野中やすし」必勝に向け、期日前投票で確実に権利を行使しよう！	
		発行所		No.2665
		盛岡市内丸10番1号		2023年
		岩手県庁内 岩手県職員労働組合		8月9日

## 2023県人勧闘争に向けた課題①

# 全世代の賃上げ実現がカギ ～取り組みの場は県人勧闘争へ～

8月7日に行われた人事院勧告では、月例給・一時金ともに2年連続の引上げ勧告となった(勧告概要は右表のとおり)。

①月例給は、全世代で引上げ勧告となったが、若年層の人材確保等の観点から、これまでと同様に若年層に重点を置いた改定となり、高齢層の賃上げは小幅にとどまった。急激な物価上昇の影響は全世代に及ぶことに加え、これまで度重なる賃金抑制を強いられてきた高齢層の賃上げ額がわずかとなった勧告への不満は大きい。

②一時金は、今人勧において期末手当にも配分するという勧告となったことは評価ができる。もっとも、物価高の影響が深刻となっている中、満足いく引上げとはいえない。

8月7日の人勧を踏まえ、今後度は県人事委員会勧告に向けた取り組みがスタートする。①月例給は全世代の引上げ、特に高齢層職員の賃上げ額の確保が重要なカギとなる。②一時金は県内でも国並みの較差が確保されるかが焦点だ。

項目	勧告概要
月例給	官民較差 3,869円(0.96%) 高卒初任給:12,000円、大卒初任給:11,000円 若年層に重点を置いて引上げし、そこから改定率を逡減させて引上げ。 (例:行政職5級93号の場合は1,000円) 【実施時期】2023年4月遡及 (国の非常勤職員に対しても遡及を要請)
一時金	+0.10月(期末手当:0.05月、勤勉手当0.05月) (再任用短時間勤務・暫定再任用:+0.05月) 【実施時期】法律公布日

## 会計年度任用職員 4月遡及・勤勉手当支給(一時金総枠の増)を

国の非常勤職員の賃金改定に関しては、自治労の国会対策等も相まって、賃上げは4月遡及とする方針となっている。同様に、会計年度任用職員も4月に遡って月額報酬の引上げが実現できるよう、要求・交渉を強化していく。また、2024年度からの勤勉手当の支給に向けた条例整備と一時金総枠での常勤職員同月数の支給実現も重要な課題だ。

# 野中「黄信号」混戦抜け出せず

盛岡市議選・県職労組織内候補

## 野中やすし

## 終盤の巻き返しへ 支持拡大・徹底を！



猛暑に負けず支持の訴え

盛岡市議選も中盤から終盤を迎える。県職労組織内・『野中やすし』は市内を小まめに遊説し、熱く政策を訴えている。遊説3日目の8日も、県庁前で「安心して生活できる賃金となっていない現実を改善させていくためにも、働く人たちの思いをしっかりと届けていきたい」、「公務職場では、多くの会計年度任用職員が低賃金で仕事をしている。格差改善に向け努力する」と支持を訴えた。



総決起集会で必死の訴え

8日夜には、総決起集会を開催。県職労組合員をはじめ約120人が結集し、2期目の議席確保へ決意を固めあった。「野中やすし」は働く者・生活者の視点の政策を市政に反映していくため、何としても議席を継続確保したいと訴えた。

精力的な訴えを続ける一方で、直近のマスコミ情報によれば「野中やすし」は上位30番に入れていないとの分析だ。当落線上の大混戦の中におり「黄信号」の大苦戦を強いられている。職場内で声掛けできるのは今日を含めて2日間のみ。組合員一人ひとりが同期・過去の職場での同僚等、一人でも多くの方へ声掛けを徹底し、行動を積み重ねていただくようお願いする。

## ①帰省前に期日前投票を活用 ②SNSで浸透加速を

「野中やすし」は必死に政策を訴えているが、いまだ当選圏内に入れておらず、厳しい選挙戦となっています。投票日の8月13日はお盆。①帰省前に「期日前投票」でしっかりと権利行使しよう。

②まだ声をかけていない友人・知人がいないか、確認し、あきらめず地道に声掛け続けることで押し上げ、野中さんの2期目当選を実現しよう。

また、右の二次元コードからSNSツールをダウンロードし、活用しながら応援を呼びかけ、浸透を加速させよう。

期日前投票所	時間
盛岡市役所本館 8階 大ホール	8:30~20:00
都南分庁舎 1階 玄関ホール	8:30~20:00
玉山総合事務所 1階 市民ホール	8:30~20:00
マリオス 3階 エントランスロビー内	9:30~20:00
イオンモール盛岡 2階イオンホール	10:00~20:00
イオンモール盛岡南 1階 無印良品前	10:00~20:00

SNSでの呼びかけ用  
ツールの二次元コード

